

一般社団法人 電子情報通信学会

ひらく

つなぐ

研究のちから

未来を形に、共に進む

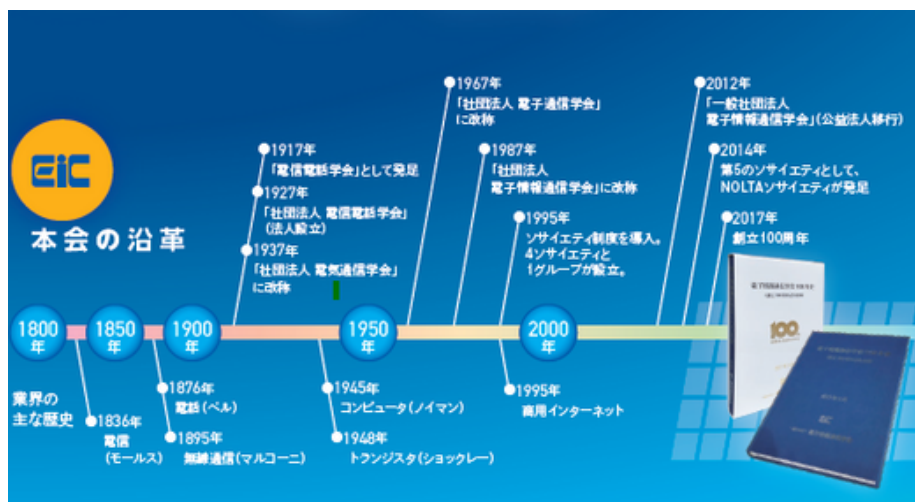
電子情報通信学会とは

電子情報通信学会（IEICE）は、電子工学および情報通信に関する学問・技術の調査、研究、知識の交換を行い、学術の進歩と成果の普及を図ることで、学術の発展と社会に広く公益をもたらす通信インフラの発展に寄与することを目的とする学術団体です。

この目的のもと、機関誌の発行、講演会・講習会の開催、学術調査研究、規格の制定、表彰、普及啓発、人材育成、政策提言など多様な事業を国内外で展開しています。これらの活動を通じて、次世代の技術基盤を支え、持続可能で豊かな情報社会の構築に貢献しています。

ごあいさつ

本会は、情報、通信、エレクトロニクスをはじめとする先端分野において、学術および技術の進展に寄与することを使命として活動しております。研究成果の発表、知識の共有、人材の育成、国際連携等を通じて、社会の発展と課題解決に貢献してまいりました。急速な技術革新が進む現代において、学術の果たす役割はかつてないほど重要になっています。本会は、専門家の連携と対話を促進し、持続可能で豊かな未来社会の構築に資する場であり続けたいと考えております。今後とも、本会の活動にご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



概要

会長：植松友彦（放送大学）
役員：理事27名、監事2名
支部：全国10支部

会員：23,179名
（2025年3月末時点）
名誉員 106 正員 18,459
学生員 3,532 ジュニア会員 641
購読会員 278 維持員 163

一般社団法人 電子情報通信学会

https://www.ieice.org/jpn_r/

105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

問合先：会員サービス課 service@ieice.org

入会のご案内

電子情報通信学会（IEICE）では、研究者・技術者・学生をはじめ、幅広い方々の入会を随時受け付けております。専門分野ごとのソサイエティ活動や、学会誌・イベントを通じた情報発信と交流を通じて、電子情報通信分野の発展に貢献できます。学会活動を通じて皆様の活躍の場を広げることができます。

主な活動概要

- 『電子情報通信学会誌』を毎月発行：会員への情報提供や学会活動の紹介、特集記事などを通じて最新の動向を発信しています。
- 和文論文誌・英文論文誌をソサイエティ毎に発行：各専門分野（基礎-境界、通信、エレクトロニクス、情報・システム）に対応した論文誌を和文・英文で発行し、国内外の研究者に成果を発信しています。
- 英文論文誌は多言語プラットフォームで提供：英文論文誌は、日本語を含む多言語対応（IEICE Digital Library）により、母国語でも閲覧できる環境を整備し、研究成果のグローバルな発信と非英語圏研究者の理解促進に貢献しています。
- 総合大会・ソサイエティ大会を年2回開催：研究発表・交流の場として、毎回5,000人以上が参加。
- 研究会を年400回以上開催：各分野での継続的な研究活動とコミュニティ形成を支援。
- 国際会議を年間多数開催：IEEEなどの国際学会と連携したシンポジウム・ワークショップも実施。
- 若手研究者・技術者向け支援活動：ジュニアWebinarやジュニア&学生ポスターセッションを実施。
- 各種表彰制度の整備：論文賞、功績賞など年間50件以上を表彰。
- リカレント教育の提供：IEICE先端セミナーおよび「電気・電子系高度技術者育成プログラム」を通じて、現役技術者の継続学習とスキルアップを支援。

年会費

会員種別	入会金	基本年会費	追加ソサイエティ登録費
正員	2,600円 ^{※1}	13,000円 ^{※2}	3,500円
学生員	0円	3,000円	2,000円

^{※1}入会金免除：電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会、日本機械学会、大韓電子工学会に在籍の方は、入会申請時に在会証明書（PDF）を提出することで、入会金が免除となります。

^{※2}20代で初めてご入会いただいた正員の方は、年度年齢が29歳までの間、年会費は10,000円です。

一般社団法人電子情報通信学会

入会に関するお問い合わせ：会員サービス課 kaiin@ieice.org



入会ページ